

## [JASA Member News 025 / 2022FY] RISC-V Webセミナー、PCB汚染調査方法・説明会、マナビDX Quest

1件のメッセージ

2022年7月12日 11:00

\* このメールはJASA会員の連絡ご担当者様、ならびに受信ご希望者に送信しています。

JASA Member News 2022年度 025号をお届けいたします。

»» ぜひ各記事のご担当者様への転送をお願いいたします ««

★ 御社のビジネス情報を会員に配信いたします。

URL <https://www.jasa.or.jp/collabo-mail/>

☆ 『JASA Member News』バックナンバー照会 / 購読者の追加・削除は次のURLから

URL [https://www.jasa.or.jp/archive/pr\\_archive/jasa-member-news/](https://www.jasa.or.jp/archive/pr_archive/jasa-member-news/)

1. 第7回 RISC-V Webセミナー
2. PCBに汚染された電気機器等の調査方法及び適正処理に関する説明会
3. デジタル推進人材育成プログラム「マナビDX Quest」受講生募集

1. 第7回 RISC-V Webセミナー  
(技術本部 ハードウェア委員会 RISC-V WG)

今回のWebinarでは株式会社jig.jp 創業者 取締役会長 福野泰介様を講師にお迎えしてお送りします。たくさんの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

- 開催日程 2022年7月27日(水)15:00~16:00
- 講演概要 RISC-V版IchigoJamに込めた期待! ~BASIC、マシン語、C言語、JavaScript教育、オープンデータとこどもプログラミング教育とPCN、IoTとInternet3などご紹介~
- 開催方法 オンライン開催
- 参加費 無料
- 詳細・申込み

[https://www.jasa.or.jp/lists/event\\_seminar/risc-v\\_5thseminar0727/](https://www.jasa.or.jp/lists/event_seminar/risc-v_5thseminar0727/)

2. PCBに汚染された電気機器等の調査方法及び適正処理に関する説明会  
(経済産業省・環境省)

当省と環境省が主催する、PCBに汚染された電気機器等の調査方法及び適正処理に関する説明会についてご案内します。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなどの性質を有することから、昭和40年代まで、主に電気機器の絶縁油として使用されてきました。その後、毒性が明らかになり、人の健康及び生活環境に係る被害が生じるおそれがある物質であることから、PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)に基づき、定められた期限までに適正に処理することとされています。

製造後30年以上経過した古い電気機器の絶縁油は、PCBにより汚染されている可能性があり、これらの機器のうち、PCB濃度

が0.5mg/kgを超え5000mg/kg以下のものを廃棄する場合は、低濃度PCB廃棄物として令和9(2027)年3月31日までに処分しなければなりません。

低濃度PCB廃棄物早期処理情報サイト

<http://pcb-soukishori.env.go.jp/teinoudo/>

低濃度PCBに汚染された電気機器等の早期確認のための調査方法及び適正処理について、下記のとおり説明会を開催いたしますので、是非ご参加ください。

開催日時 令和4年月27日(水) 14:00～15:30

開催形態 ビデオウェビナー

対象者 経済産業省の所管団体の会員企業、関係事業者等

開催内容：早期確認のための調査方法及び適正処理に関する手引き等の説明

(ご参考) <https://www.meti.go.jp/press/2021/03/20220331008/20220331008-1.pdf>

申込方法 説明会申し込みフォーム

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kankyokanrisuishin/pcb2022072714>

※視聴用URL、視聴方法等は説明会開催の2日前に、申し込み時にご登録いただいたメールアドレスへお送りします。前日までに連絡がない場合には、問い合わせ先までご連絡ください。

申込締切 7月22日(金) 17:00

事前質問：現時点でPCBの調査方法や適正処理についてご不明な点等ございましたら、申し込みフォームにて事前質問を受け付けておりますのでご活用ください。いただいた質問については質疑応答等にて回答いたします。また、説明会の当日もご質問いただけます。

備考：説明会後にアンケートにご協力をお願いします。

=====

### 3. デジタル推進人材育成プログラム「マナビDX Quest」受講生募集

(経済産業省 情報産業課)

経済産業省では、地域企業・産業のDXの実現に向けて、デジタル人材の育成を推進するため、デジタル知識・能力を身につけるための実践的な学びの場として、ポータルサイト「マナビDX(デラックス)」を令和4年3月に開設しました。

さらなる地域企業・産業のDXの実現に向け、ビジネスの現場における課題解決の実践を通じた能力を磨くため、2022年9月～2023年2月中旬の期間、1,800名程度の学生・社会人を対象に①企業データに基づく実践的なケーススタディ教育プログラムおよび、②地域の中小企業との協働による、デジタル技術を活用した課題解決型現場研修プログラム「マナビDX Quest」を実施します。

「マナビDX Quest」を通じて、デジタルの経験有無にかかわらず、企業におけるDXを推進する変革の考え方やプロセスを学び、志を同じくする幅広いデジタル人材とのつながりを構築することができます。

#### 【ケーススタディ教育プログラム】

○ 座学ではなく、参加者が情報交換して学び・教え合いながら、課題を解決していくPBL(プロジェクト型学習)を中心に据えたプログラム

○ 各ケーススタディでは、ビジネス課題からデジタル課題まで、DXを推進し組織を変革する一連のプロセスを一気通貫で学習することが可能

○ デジタル初心者/経験者問わず、プログラムに参加できるよう、多数の補助教材を用意

#### 【現場研修プログラム】

○ 地域の中小企業の課題にチームで取り組み、経営陣・担当者との協働による実体験を通じて、ケーススタディ教育プログラムで学んだ、DXを現場で推進する際の難しさやポイントを学ぶ

※現場研修プログラムに参加するためには、ケーススタディ教育プログラムから参加いただく必要があります。

応募期間：2022年7月1日(金) 10:00～8月1日(月曜日) 8:59

実施期間：2022年9月初旬～2023年2月中旬

受講対象：学生・社会人。必要最低限のDXリテラシー(データの基礎理解を含む)を保有している方(専門性やバックグラウンドは不問)

募集人数：1,800名程度

参加形式：全日程オンラインで実施

- 受講料：無料
- 受講時間：週6～12時間程度の課題取り組みを想定。取り組み度合いで必要時間の増減有り
  - ※ 期間中の平日夜や土曜日に議論・知識共有や相談会等の受講生同士のオンライン交流機会有り(2～3時間/回)
- 詳細・応募 下記より詳細ご確認の上、ご応募ください。  
<https://manabi-dx.ipa.go.jp/manabi-dx-quest-2022>

「」」」」 発信元 「」」」」

一般社団法人 組込みシステム技術協会

Email [jasainfo@jasa.or.jp](mailto:jasainfo@jasa.or.jp)

» 『会員向けメニュー』 会員情報変更・会員情報配信・限定サービス

URL <https://www.jasa.or.jp> (JASAホームページ最上段右手)